

第2回宇治東山市営住宅建替推進委員会（要旨）

日 時	令和5年8月23日（水）午前10時00分～午前11時00分
場 所	コミュニティワークうじ館 2階
出席者	（委 員）竹口委員・小山委員・尊田委員・西岡委員・林委員・木積委員 （欠 席）三吉委員 （事務局）建設部 五十嵐部長・飯田副部長 住宅課 森川係長 福祉こども部 柏木副部長、上下水道部 藤井場長 教育部 上道副部長 （傍聴者）1名
議事要旨	開会 1. 報告事項 （1）入居者聞き取り調査の結果について 事務局より、資料1・2に沿って説明 （委 員）センター保育所敷地となった場合、行政が主体となって、善法地域周辺と入居者とのコミュニティ形成を推進すべき。 （会 長）今回の事業で大切なことは大きく2点。1点は善法にとってのコミュニティの形成は重要であること。もう1点は、現在の市営住宅入居者の安全・健康を第一に考えること。 （事務局）単に市営住宅の建替えではなく、地元のコミュニティの更なる発展が大切と考えており、地元のコミュニティやまちづくりの視点もいれて検討していく。 （委 員）現入居者は、新しい敷地へ移ることへの不安がある。建物の検討以外にもコミュニティの構築の観点から入居者のケアを考えてほしい。 （委 員）現状の住戸より、集合住宅とした方がバリアフリーの観点から望ましい。実際に集合住宅を見学すれば理解が得られると思う。 2. 議事 （1）候補地について 事務局より、資料3に沿って説明 （委 員）入居者聞き取り調査に随行したが、住戸内の段差に困られていることや、平坦な土地に移りたいとの意見が多かった。青少年センター・保育所敷地なら坂も少なくなる。距離も駅からタクシーでワンメーターほど。 （委 員）集合住宅の中に集会施設も設ける等など、地域住民と入居者とで

	子どもを見守れるような新たなコミュニティ形成の拠点作りを進めれば建替えの意味がある。 (委 員) これからのニーズを考えて、地域の高齢者や独居の方が集まれる場所が、現在ある老人福祉センター以外にも市営住宅にできれば、地域のコミュニティの拠点になると思う。 (委 員) 青少年センター・保育所敷地周辺には、新しい住宅がたくさんできており、新しく子どもや保護者との交流が生まれるため、良いと思われる。 (委 員) 建替えには賛成だが、青少年センター・保育所敷地内に新たに市営住宅が建つと手狭になるのではないかな。 (事務局) 少子化が進む一方だが、保育ニーズは高い。保育所としては、保護者だけではなく、保育所長やそこで働く保育士、用務、調理などからも意見を伺う中で、保育の質を維持・向上させられるように、今後議論していきたい。 (事務局) 青少年センターは令和４年で延べ１万人が利用している。建物の面積などで制約が出る可能性もあるが、機能については今の時代に応じた内容に見直す必要がある。職員や利用者の意見を聞く中で検討していきたい。 (委 員) 青少年センターについて、利用者の利用形態から、現在より小規模にできるのではないかと考える。 (委 員) 保育所・青少年センター敷地となった場合、不法駐車がないよう駐車場についても検討してほしい。 (会 長) 保育所・青少年センター敷地での合築を考える場合、周辺住民や入居者の合意形成でお互いが寄り添っていく必要がある。それを乗り越えてでも、青少年センター・保育所を第一候補地とするのがいいのではないかなというのがこれまでの委員からの意見であり、委員会として青少年センター・保育所を第一候補地としたい。合築にあたっては、それぞれ面積が狭くなっても機能を高め保育・教育活動がより有効になるように、専門家の意見を聞きつつ議論を進めていってほしい。 (事務局) 本委員会において、青少年センター・保育所敷地での建替えが望ましいとの意見をまとめていただいた。今後、議会や地元全体の意見を聞きながら市として決定していく。 ３．その他 閉会
--	---